

* 給食だより *

令和7年1月7日発行

新年明けましてあめでどうぞございます。本年もよろしくお願ひします。

1月はお正月料理にはじまり、七草がゆ、鏡開き、学校給食週間もあります。日本の伝統文化である行事の意味や由来などを知る良い機会です。

まだまだ寒さが身に染みる日が続きますが、よく食べ、よく運動して長期休み中に乱れがちな生活リズムを整えましょう。

本年も安全でおいしい給食を作ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

1月の給食目標

感謝して食べよう

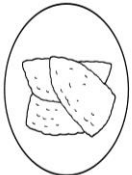
いつも何気なく食べている食事ですが、どんな人たちの協力を経て口に入るのか考える1月にしましょう。いただけることに「ありがとう」の感謝の気持ちをもって、「いただきます」のあいさつをしましょう。



お正月に食べるおせちには、健康や長寿などの祈りが込められています。

数の子

数の子は、にしの卵です。卵が多いことから、子孫繁栄の願いが込められています。



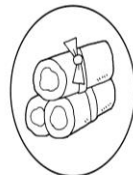
田づくり

田んぼにこいわしの肥料をまいたことから、田づくりと呼ばれ、豊作の願いがあります。



こぶ巻き

昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられ、また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。



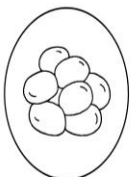
えび

えびのように、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いが込められています。



黒豆

まめは、まめに働き(勤勉)、まめに生きる(健康)という願いがあります。



たたきごぼう

ごぼうは、根が地中深く入ることや豊年や息災の願いが込められています。



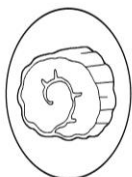
きんとん

きんとん(金団)には、財宝などの意味があります。金運への願いが込められています。



伊達巻き

善物に似た形から文化、学問、教養を持つことを願ったといわれています。



給食が始まったのはいつから？

日本の学校給食は、山形県鶴岡町の市立忠愛小学校において、明治22年に無償で始まったとされています。その目的は、貧困児を救うためのものでした。

給食に牛乳が出るのはどうして？

成長期に骨量を高めることは、骨づくりや骨粗しょう症予防のために重要です。牛乳はカルシウムを豊富に含み、吸収率も優れているため給食に出されているのです。

この期間は一宮町統一献立、インド、中国、フランス、北海道の料理の献立を提供します。その土地の気候や農作物、海産物などイメージしてみましょう。

